資料3



北谷地区・高城地区 住民ワークショップ開催報告

プロジェクトの概要

地域課題	➢ 利用者減少やコストが増加し、路線バスの赤字補填額（行政負担）が増加する一方で、ドライバー不足によるバスの減便・短縮が進んでいる ➢ 地域内には買い物環境がない中で、従来より、乗合タクシーやNPOによる有償運送など行われているが、各サービスが重複して提供されており、限られた資源（予算・担い手等）を有効に活用した持続可能な仕組みの検討が求められている
目的	➢ 地域内で交通課題に関心のある住民を募集 ➢ 移動の困りごとや理想の姿を話し合い、新しい地域交通をみんなでかたちにしていくことを目指す
参加対象者	中学生以上で、北谷地区・高城地区の地域交通に関心のある方
参加者の募集方法	• 各地区自治公民館長会にて案内＋チラシの全戸配布依頼 • NPOたかしろへ案内 • 久米中学校へ案内+チラシの配布依頼 • 防災行政無線で放送 • 各地区民生委員の会合で案内 • コミュニティセンター運営委員会で案内
第1回住民ワークショップの目標	• これから考える新しい地域交通を持続可能なものにするため、住民（参加者）が“自分たちの交通は自分たちで守る”という意識付け • 地域交通に係る困りごとを高齢者や学生などさまざまな視点から洗い出す • 移動ニーズの深堀（理想的な移動手段、移動手段をつかって出かけたい場所・目的地）





第1回住民ワークショップの開催概要

開催日時　令和8年2月14日（土）10:00～12:00

開催場所　北谷コミュニティセンター

参加者
- 住民参加者　21名（高城地区12名、北谷地区8名、地区不明1名）※うち1名Web参加
- 倉吉市企画課　4名
- 株式会社バイタルリード　3名

次第
1. 開会
2. 挨拶・趣旨説明
3. 資料に沿って説明
4. 地域住民とのワークショップ
   【テーマ】
   ① 困った体験について
   ② こんなおでかけができたら素敵だな・楽しいな
   まとめ（各グループの発表）
5. 閉会の挨拶
6. 閉会

当日の様子








住民ワークショップの発言内容の総括

① 困った体験について

住民の困りごとは、単なる「交通の不便さ」ではなく、「運転できなくなったときに生活が成り立たない」という根本的な不安に集約される。バス・タクシーの利便性不足、冬季の道路環境悪化、買い物・医療施設の地域外立地といった課題が複合的に重なることで、この不安は増幅され、現在の「自動車依存」から脱却できない悪循環が生まれている。

住民ワークショップで出た主な意見

■移動手段の喪失リスク
- 5年後、10年後、どんどん後手で後退していくことになる
- ドライバーの高齢化への不安（免許返納の時期を悩んでいる）
- 車にのれなくなったら・・・心配だ！
- 年を取って運転して事故を起こさないか
- 歩けなくなった時（きちんと歩けなくなった）

■バス・タクシー等の利便性
- バスを利用したい時に、便がない
- 時間に合うバス便が無かった
- 久しぶりにバスに乗ったら運賃が思ったより高かった
- バス停まで遠い（2km、150m車道まで）
- 夜21時を過ぎるとタクシーがなかなか来ない
- タクシー代が高い
- 運転はしていない。バスが減便された時、仕事の時間を変更した
- バスの減便でデマンドの乗り継ぎをしないといけなくなった
- 土日祝日　バス便が少なくとても困る

■買い物・病院へのアクセス困難
- 買い物にいけない
- 病院に行けない
- 高齢になった親が病院に行きたいと言った時に、仕事の関係で行けない
- 車がない人は、病院・買物が不便
- 集落の独居の人の生活（買い物等）が心配
- コンビニ、スーパーまで6km

■ 冬季・道路環境の課題
- 大雪で自車が動けず、出勤できなかった
- 雪などで車が使えない
- 豪雪で交通に支障が出やすい
- 大雪で倒れた竹が道をふさいでしまう事がある
- 徒歩や自転車での移動をしようとしても歩道がなく危険
- 道路の白線が見えにくい
- 道路沿いに放置樹木があり、通行が不安

■子育て・送迎の負担
- 孫の送迎で予定時刻より早く、又は遅く出かけることがあった
- 子育て世帯には不便（通学）
- 孫の送迎（学校に間に合わない）
- 両隣が独居・車なし

住民ワークショップの発言内容の総括

② こんなおでかけができたら素敵だな・楽しいな

住民の発言から見えるのは、定額乗合タクシーや相乗りといった「移動手段の多様化」と、買い物ツアーや温泉めぐりといった「目的地とセットの企画」が一体となって機能する必要があるということ。さらに、地域内マーケットや地区サロンなど、日常的に「出かけたくなる拠点」づくりが重要。交通手段の整備と同時に、「出かけたい理由」をつくる取り組みが不可欠である。

住民ワークショップで出た主な意見

■地域内の「出かけたくなる場所」づくり
- 地域の人が集まれてコミュニケーションできるおでかけ！
- 手作りの食事が楽しめる、お茶も飲める→場所がある
- 地域内に小さなマーケット
- 旧北谷小学校（廃校）に高齢者と子供も集めて行けばコミュニケーションできる場所に！
- だれでも、つどえる所を（いつでもだれかがいる所）
- 農業体験教室（水田、小麦、大豆）
- ジビエ料理店の開設
- つり堀の開設
- グランドゴルフ場の開設
- 森林公園（レストラン）、ウォーク公園

■地域内のコミュニケーション活性化
- 地区サロンへ多く集まれる環境（現在の集まりは少なすぎる）
- 地域内のセンターでの懇親会（高齢者）
- 高城まつりに参加して楽しい！
- 仲間とだと草刈りも楽しい！
- 困り事の依頼やちょっとした仕事の依頼を共有できるようなローカルの（物理的な）掲示板を設置する
- コミュニティセンターや公共の広場等にローカルのマーケット（自由市）を個人が手軽に開ける様にする

■柔軟で使いやすい移動手段
- 行きたい時にどこへでも行ける交通手段
- 定額乗合タクシー
- 24時間タクシー（低料金で）
- タクシーも相乗り
- 相乗り（ラインなどでつながる）
- 逆相乗り（〇〇へ行きたい。誰か用事で行く人ない？）
- 小型車　村の中まで
- バスの小型　運転手増
- 乗り合いタクシー、有償運送を西倉まで行けるように
- 横田⇒西倉（良くなった）が市役所までにしてほしい
- 西倉まで便
- 片道料金で駅・どこか　→　家まで
- 時間を指定したらすぐに来てくれる
- 飲み会の時すぐに来てくれる
- 朝イチの特急や飛行機に乗るための手段（タクシーが来ない）
- バス拠点をつくる場合、広い駐車スペース、滞在できる場所を広くとれれば、いい

■目的地とセットの交通サービス
- 気の合う仲間と旅行に行く
- 季節の伝統行事を楽しむ（節句、正月行事とか）
- コロナで中止になってからできてない女子会したい
- 関金温泉　×　中部の温泉めぐり
- 最新流行体験ツアー（〇〇コーヒー、マック、エステ、回転スシ、有名施設めぐり）
- 打吹公園、白壁土蔵めぐり　＋　昼食（弁当）
- 未来中心のコンサートやイベント見学（チケット込み）
- 地区、地域内の観光（お寺・神社を含む）めぐり
- 温泉・植物園、大社まいりなど観光地めぐり
- 買い物ツアー充実
- サポーター付買物ツアー

■その他の希望
- IT化でサポート
- 自動（自立）運転システムは作れないか
- 小鴨地区のカーシェアリングシステムの検討
- 抜本的にシステムを変更して自助・自走できるシステムを構築して欲しい
- 地域外の人々が遊びに来たくなる、魅力的な地域になる！
- 現在機能している交通の利用（スクールバス、デイサービス、通勤車両、高校用スクールバス）

ワークショップ参加者アンケート

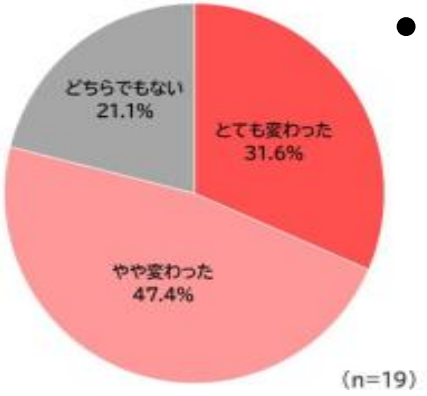
参加理由

- 参加者の参加理由は、「個人の将来不安」と「地域課題への関心」に大別される。免許返納後の生活、地域交通の衰退といった課題を認識し、「現状を知りたい」「どうなるのか」という問題意識を持って参加している。

＜参加した理由＞ *自由記述

- 自分の将来を考えると不安だったから
- 将来の事を考えて
- 現状どうなっている、をしりたかった
- 地域にとって大切な問題だから
- デマンドタクシーを利用している為、なくならないようにお願いしたい
- 今後の公共交通についてどう思われているのか
- 関心があったから
- 地域の公共交通はいずれ高齢になった時に身近な問題になるから
- NPOたかしろ会員として興味
- 地域生活の一助になればと思い
- 地域交通に不便を感じているから
- 地域のことを考えてみよう
- 地域課題の解決
- 自分自身の今後のことを考えたかった
- 現状の問題把握
- 今後の生活不安を思うと・・・
- 地域全体の現状を知りたいと思って
- 他地区の事を聞きたかった
- 近隣にあった商業施設が相次いで閉店しており以前にもまして車両を持っていないと生活に困る状況になっているから。運転免許を返納したお年寄りが大雪の中徒歩や自転車でホームセンターに灯油を買いに来るのを何度も見ていた。

ワークショップに参加したことによる意識の変容



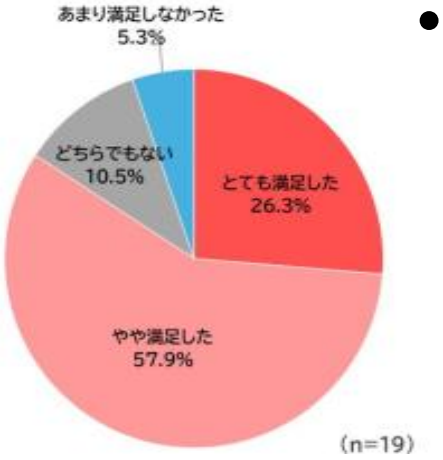
- 参加者の約8割が、地域への思いや日々の移動についての考えが**「とても変わった」、「やや変わった」**と回答

＜理由＞ *自由記述

- 参加者の意見が聞けた
- いろんな思いが有ること、同じ考えをしている人がいると感じた
- 様々な問題点を新たに知れた
- あまり意外性や参考にある意見はなかった

ワークショップ参加者アンケート

ワークショップの満足度

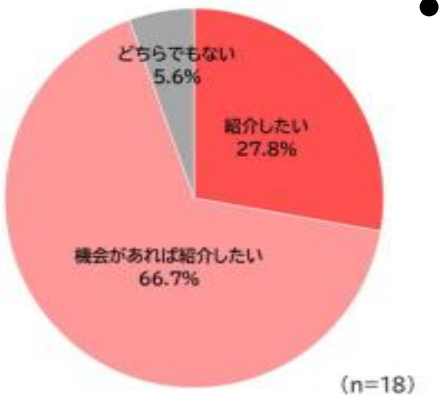


- 参加者の約8割が、住民ワークショップの満足度について**「とても満足した」**、**「やや満足した」**と回答

＜理由＞ *自由記述

- 意見交換が活発で良かった
- 参加者の意見が聞けた
- もう少し目的をはっきりと示して話し合いをしたかった
- いろいろな人々のいろいろな考えを知れた
- 意見をまとめた後具体的にどう活かすのか改善するつもりなのか わからなかった

ワークショップおよびプロジェクトの対外的紹介意向



- 参加者の約9割が、今日の話や今回のプロジェクトについて、家族や近所の人に**「紹介したい」**、**「機会があれば紹介したい」**と回答

＜理由＞ *自由記述

- 困っている人がいるかもしれないから
- 今後の進め方に興味あり
- グループと共有
- 本日の報告を広くPRしていただきたい
- すまいる高城サロン
- みんなに意識してもらいたいから

ワークショップ参加者アンケート

自由記述（感想や要望等）

＜ワークショップへの評価＞

- いろいろな意見があってよかった。参考にして、今後に役立ててもらいたい。
- 地域の声を聞いて頂きありがたく感じています。これからもよろしくお願いします！！
- きょうの中味をさらに深め、より具体的に、どうしたらできるかの議論につなげてほしい。
- 楽しい交通の活用をみなさんが、考えていることがわかった。
- 一部の人たちが協議して方向性を定めることなく、スタート事点から広く広報して、多くの人たちで話し合いの場をもって、いろんな意見を集めてほしい。
- 利用者の生の意見を聴きたかった。
- 2時間という時間内で話をまとめるのであればもう少し主催側で話し合いの主題を絞って各自が具体的な意見を出し合えるように統制してほしかった。はじめの自己紹介は省略しても良いと思う（必要以上に時間を食っている） 正直言って住民からどういう意見を徴収しようとしているのか、その意見を基にどういった改善をしていくのか不明瞭であると感じた。

＜今後の交通手段への要望・期待＞

- 灘手地区のような”ノーソン”が、北谷にもできればいいな。
- バス路線の廃止は、利用者減少により、身近な問題なので、何とか良い対策が出されば良いかなと思います。

＜市・地域への要望・期待＞

- 次回に考えます。幅広い高齢者対策につなげて欲しい。
- 少子化、高齢化が進んで過疎化が起きてます。（人を呼ぶ）対策が必要と思います。ジビエ料理店、グランドゴルフ場、つり堀、ウォーク公園等の開発も必要と思う。
- 市役所の根本的にスタンスや未来に対するビジョンを知りたい。

＜他地域事例に関する要望＞

- 他事例も具体的に聞いてみたい。